

平成 28 年度 第 1 回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 会議概要

- 1 会議名 平成 28 年度 第 1 回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会
- 2 日 時 平成 28 年 5 月 19 日（木）午前 10 時から 11 時まで
- 3 場 所 安曇野市役所本庁舎 4 階大会議室
- 4 出席者 宮澤宗弘会長（安曇野市長）、奥山修司委員、坂本賢一郎委員、伊藤和之委員、長澤徹委員、瀧澤壮芳委員、中山栄樹委員、増田早苗委員、中村豊江委員、藤岡嘉委員、真峯嗣委員、山崎徳昭委員、太田謙委員（高橋正光氏代理出席）、山田守二委員、望月熙史委員、山田高久委員、藤原歩美委員、宮崎崇徳委員、曲淵憲介委員、小林忠由委員、小岩井清志委員、耳塚喜門委員、岡山徳夫委員、饗場一直氏、中村博委員、市川喜嗣委員、西郷靖純委員、倉島義和委員（中山弥氏代理出席）、藤松兼次委員、小林弘委員、花村潔委員（野本岳洋長寿社会課長代理出席）、曾根原悦二委員、横山正委員、山田宰久委員
事務局：関政策経営課長、北條企画担当係長、企画担当丸田
担当課：福祉部（瀧長寿社会課 長寿福祉係長）
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 記 者 2 人
- 7 傍聴者 0 人
- 8 会議録作成年月日 平成 28 年 6 月 1 日

協議事項等

会議次第

- 1 開 会（事務局 関課長）
- 2 あいさつ（宮澤会長）
- 3 自己紹介
- 4 議 事
 - （1）専決処分の承認を求めることについて
 - （2）平成 27 年度安曇野市地域公共交通協議会事業報告について
 - （3）平成 27 年度安曇野市地域公共交通協議会決算について
 - （4）平成 27 年度福祉バス運行実績報告について
 - （5）平成 27 年度上田線運行実績報告について
 - （6）安曇野市地域公共交通協議会規約の改正について
 - （7）地域間幹線系統確保維持計画「四賀線」（案）について
 - （8）地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について
 - （9）平成 28 年度あづみん等運行車両購入計画（案）について
 - （10）地域公共交通網形成計画の策定及びあづみんの運行体系等の見直しの検討について
 - （11）その他
- 5 閉 会（事務局 関課長）

協議方法

安曇野市地域公共交通会議設置要綱第6条及び安曇野市地域公共交通協議会規約第13条第2項に基づき、会長が議事進行を行う。

議事録署名人

中山栄樹委員、中村豊江委員

議事

(1) 専決処分の承認を求めることについて

【事務局説明】・・・資料1

収入支出予算の総額からそれぞれ 3,454 千円を減額し、収入支出予算の総額をそれぞれ 68,525 千円とする(平成 28 年 3 月 28 日専決処分)。詳細は「収入支出予算補正」を参照。事業費の確定により不要額を減額する。主な減額理由は運行管理費のうちオペレーター賃金の減額である。

質疑 なし

拍手により承認

(2) 平成 27 年度安曇野市地域公共交通協議会事業報告について

【事務局説明】・・・資料2、3、4

1. デマンド交通「あづみん」、定時定路線の運行

あづみんの利用は4%減少し、9万人を割り込んだ。主な理由として、1月の大雪の影響によるものが大きい。一方、定時定路線は6%増加しており、高校生の利用増によるものと考えられる。

利用者の内訳としては、100円利用者がおよそ4割となっており、年代別では60代以上の利用が76%となっている。また、女性の利用が7割以上となっている。これらのことから、あづみんが交通弱者の足として定着していることが伺える。(資料3-1)

利用場所ランキングでは、乗降車ともに医療機関・スーパー・福祉施設が主な利用場所となっている。(資料3-2の16、17ページ)

2. 乗合タクシー「あづみん」等の運行検証

・「あづみん」未利用者、1回利用者アンケートの実施

利用登録をしているが未利用の方、1回のみ利用の方のご意見を伺った。

感謝のご意見がある一方、改善を求めるとのご意見もいただいております。今後の運行に活かしていきたい。(資料4)

3. 観光交通(市外移動含む)及び福祉交通との連携

(1) 観光交通(周遊バス、上田線など)との連携

(2) 福祉交通(福祉バス運行)との連携

周遊バス、上田線、福祉バス等について、協議会に報告するとともにご意見等を

いただき、連携を図っている。

4．公共交通サービス等に関する情報提供

市、運行事業者及び観光協会等のホームページ等で情報を発信している。

平成 27 年度は、利用者向けの会報を予定していたが発行ができなかったため、PR も含めて今年度発行していきたい。

5．その他安曇野市地域公共交通総合連携計画推進に関する事業

質疑 なし

拍手により承認

(3) 平成 27 年度安曇野市地域公共交通協議会決算について

【事務局説明】・・・資料 5

議事(1)により承認いただいた専決処分に基づいた決算書となる。決算額は、収入、支出同額で 68,519,910 円、差引残高なし。

【監査報告】(伊藤委員)

5 月 11 日に監査を実施し、各書類を確認した。また同日、齋藤監事からも監査を行っていただいた。その結果、正確であることを確認したので報告する。

質疑 なし

拍手により承認

(4) 平成 27 年度福祉バス運行実績報告について

【担当課説明】・・・資料 6

資料の訂正・・・全地区(計)(老人保健センター除く)の 701 人を 804 人に訂正。
実績は、前年度に比べて減少傾向しており、特に各地区の福祉センター行きについては、利用者が少ない状況となっている。

質疑 なし

(5) 平成 27 年度上田線運行実績報告について

【耳塚委員説明】・・・資料 7

平成 27 年度の 1 日平均利用者は、上田行きが 1.5 人、安曇野行きが 1.3 人であり、今年の御遷宮祭の際も利用が少なかった。利用の低迷のため、運行形態を見直す時期に来ていると考えている。

質疑 なし

(6) 安曇野市地域公共交通協議会規約の改正について

【事務局説明】・・・資料 8

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成 19 年法律第 59 号)」の改正により、「地域公共交通総合連携計画」は「地域公共交通網形成計画」に改正されている。本年度から「地域公共交通網形成計画」の策定に着手するため、規約の該当部分を改正したい。なお、「地域公共交通総合連携計画」の計画期間は平成 29 年度までであるため、「地域公共交通総合連携計画」と「地域公共交通網形成計画」を併記した内容とした。連携計画の期間が終了した際は、再度改正をお諮りしたい。

質疑 なし

拍手により承認

(7) 地域間幹線系統確保維持計画「四賀線」(案)について

【小林(忠)委員説明】・・・資料 9

四賀線は、松本バスターミナルから松本市内を通り、安曇野市内 2 停留所を経由して、四賀支所を結ぶ路線である。この計画は、路線の存続、維持のため、協議会に毎年 3 年の計画を提案し国庫補助をいただくものである。

また、自社のみでは車両の購入は難しいため、低床車両の導入に際して同様に国庫補助の活用を予定している。同内容の計画案を、6 月 1 日の松本市の協議会に提案する予定である。

質疑 なし

拍手により承認

(8) 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

【事務局説明】・・・資料 10

「あづみん」、定時定路線を維持し、高齢者、障がい者、学生などの交通不便者の移動手段の確保にあたり、国庫補助を受けるために必要な計画となる。

また、昨年度購入した車両の減価償却分 2 台及び新規車両購入 1 台についても予定していきたい。

質疑 なし

拍手により承認

(9) 平成 28 年度あづみん等運行車両購入計画(案)について

【事務局説明】・・・資料 11

あづみんの安全・安心な運行のため、車両の購入について市からも補助を行っている。昨年度から計画的に更新を図っており、今年で 2 年目となる。今年度は 3 台の購入を予定し

ている。

質疑

【委員】走行距離の多い方からという説明があったが、購入については事業者が手を上げて市に希望を出す必要があるのか。

【事務局】事業者としても一括で更新するのはご負担も多いため、何年間かかけて購入していくということで、事業者様よりある程度計画をお示しいただき、掲載させていただいた。今後更新の予定があれば、追加をさせていただきたい。平成 28 年度はこの 3 台であったため上程させていただいた。予定があれば、またお打ち合わせさせていただきたい。

拍手により承認

(10) 地域公共交通網形成計画の策定及びあづみんの運行体系等の見直しの検討について

【事務局説明】・・・資料 12

地域公共交通網形成計画は、地域公共交通のマスタープランとなる。計画には、まちづくりとの連携及び地域全体を見渡した面的な公共交通の整備を盛り込むこととなる。

また、来年度であづみんの運行が 10 年となる。課題・要望等も上がってきているため、計画の策定に合わせて運行体系の見直しにも取り組みたい。

計画の策定及び運行体系の見直しは、奥山幹事長を中心とした部会で叩き台をつくり、協議会にお諮りすることとしたい。

質疑 なし

拍手により承認

(11) その他

なし